



大村市立福重小学校 学校だより

令和4年2月7日（月）

あさひ

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：㊦るさとを愛する子・㊧ふうする子・㊨んせつな子・㊩んきな子

みんなで応援するからね！

少し前になりますが、全国都道府県対抗女子駅伝が行われ、長崎県チームは大村市出身の廣中璃梨佳さんの大活躍もあり、5位入賞を果たしました。実力者の揃う区間で区間賞も取っています。今回テレビの前で応援し、感動を味わわれた方も多かったことと思います。

身近な人の活躍というのは、私たちに元気や勇気を与えてくれます。2月に行われる予定だった県下周駅伝では、大村市チームの一員として本校勤務の末岡瞭先生も出場することになっていました。学校でも壮行会を開き、学校を上げて応援をするように計画をしていましたが、残念ながらこのコロナウイルス感染拡大を受けて、中止になってしまいました。私は、子供たちにとって必ず大きな影響があると信じていましたので、残念でなりません。

末岡先生も肩を落としていましたが、「来年出るときには、必ずみんなで応援するから」と伝えています。

6年生から在校生に

掃除の時間、校長室には6年生の子供たちが掃除に来てくれます。毎週メンバーは変わっても、無言で黙々と掃除をします。感心するほど手際もいいです。コロナ感染症が落ち着いているときには、掃除が早く終わるので少し残ってもらって、5分ほど地域のよさや習い事の話、中学校でやりたいこと等についていろいろな話をしました。どの子供も、目を輝かせては話をしてくれました。

そのような校長室掃除の様子に、最近変化が起きています。3年生の子供たちが、6年生に掃除の仕方を学びたいとくっついてくるようになりました。今年1年間、コロナ感染症拡大防止という名目で、6年生の活躍の場は少なくなってしまいました。しかし、特別な場を設けなくても、こうやって6年生が頼もしい姿を見せてくれていること、それを在校生が憧れの目で見て引き継ごうとしていることをとてもうれしく思いました。

鬼は外！福は内！

先週2月3日は、「節分」でした。校長室にも「なきむしおに」「もじもじおに」「おこりんぼおに」、かわいい鬼たち3匹がやってきました。なのはな学級の1年生です。これまで私は、公私共に「鬼」を演じることはありましたが、「福」を演じるのは初めてでした。新聞紙を丸めた「豆」をかわいい鬼たちに向かって投げました。「鬼は外！福は内！」、すると、その中の一人が「助けてくれてありがとう」と言ってお面を取りました。きっと、「悪い鬼を追い出して、ぼくをよい子に戻してくれてありがとう」と言いたかったのだらうと思います。なんて素敵な言葉、素敵な感性だらうと思いました。

私の心の鬼も追い出され、心を洗われた節分になりました。

